

西脇市消費生活センター

☎22-3111(防災安全課内)

No.164

パソコンの偽警告にご注意

■相談事例

突然パソコンに「危険」「ウイルスが検出された」と警告画面が出現した。指示されるままクレジットカード番号を入力してしまった。

■注意点

「パソコンがウイルスに感染した」と偽の警告を画面に表示させ、利用者の不安をおおります。ピーピーと警告音が鳴る場合も。表示された番号に電話をかけると、多くの場合、片言の日本語を話すオペレーターが出ます。遠隔操作ソフトのインストールを促され、指示に従ってしまうと遠隔操作をされてしまいます。その後「パソコンに問題がある」と説明され、今後のサポート契約と、支払いを持ちかけられます。

■対処法

偽警告は「単なるだまし」に過ぎません。被害を防ぐ特効薬は、だましの手口を知り、電話をかけないことです。

※このようなトラブルの仕組みや対応は、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）「安心相談窓口だより」で紹介されています。

お困りのことがあるときは、消費生活センターに相談しましょう。

めぐりコラム 2

西脇市では黒田庄和牛や山田錦、イチゴなど全国に誇れる地域食材が生産されており、さまざまな農業振興施策を推進しています。このコラムでは、本市の農業に関する旬な情報をお伝えします。

■問合せ 農林振興課(市役所内線322)



金ゴマとイチゴを使ったクッキー

地域食材を使ったクッキーを開発

西脇市では、金ゴマの生産で課題となっている農作業工程の一部を障害者福祉サービス事業所へ委託し、農業を通じた障害者の就労機会を創出することによって、将来的には農家から一部の農作業を受託できる体制づくりを進めています。

昨年10月に、この事業に参加している福祉サービス事業所「ドリームボール（黒田庄町喜多）」の利用者が「自分たちで栽培した金ゴマを多くの方に食べてもらえるように商品開発がしたい」と、クッキーの試作を開始しました。加西農業改良普及センターや地元のパティシエから指導を受けながら、試行錯誤を繰り返し、今年2月に西脇市産の金ゴマとイチゴを使ったクッキーを商品開発しました。

このクッキーは北はりま旬菜館や道の駅北はりまエコミュージアム、さらにはインターネット販売サイト「+Nukumori（ぶらすぬくもり）」でも販売しています。ぜひ、ご賞味ください。



▲先生のためのブラッシュアップ研修会の様子

①英語検定受験料年1回助成
▼対象 中学1～3年生（希望者）
②GTEC（英語コミュニケーション）
☆児童生徒の英語力アップを目指して

授業研究や指導方法の研修と合わせて、「先生のためのブラッシュアップ研修会」を実施しています。主に市内の小中学校の先生が集まって研修を行います。市外からも参加希望者が集まり、ALTも交えながら英語の発音や会話、指導方法を学んでいます。また、昨年度は先進地視察や小中学校の教諭が合同で研修を実施するなど子どもたちにとどう「使える英語」を身に付けさせるかについて話し合いました。

山や海へ出掛けたくなる季節になりました。キャンプなどの体験に勝る学びはありません。その機会が今、少なくなっています。そこで、西脇市では子どもたちが地域の方と触れ合いながら、市内各所でいろいろな体験活動を行う「にしわきジュニアじんけん教室」を開催しています。昨年度は、6月の田植え体験を皮切りに、盲導犬との触れ合いや地域でのボランティアなど、一年を通じて16回の体験活動を行いました。参加者は市内の小中学生と5歳児、その保護者です。そして、障害がある人、外国籍の方や大学生などです。子どもたちが普段、接する機会の少ないいろいろな人が集まり、延べ962名が交流を深めました。私たちは体験活動を通して、人権を身近に感じてもらうために、大切にしていることがあります。それは、住んでいる所や年齢、性別にとらわれないこと、人と協力し触れ合う機会を作ることです。例えば、グループを組み、リーダーが司会や引率をし、

地域の先生がサポートします。特に参加した小学生にとって、優しく声を掛け一緒に遊んでくれる中学生、大学生のリーダーの人気は絶大です。楽しかったという感想を多く聞きました。その他にも、「手話を覚えることができてうれしかった」「盲導犬は目の不自由な人にとって大切だと分かった」など、さまざまな喜び、気持ちに、指導やサポートをしてくださった皆さんの心の温度もきつと高まったことと、思っています。

【小中学校にALT（外国語指導助手）を配置】子どもたちはALTを通して異文化に触れ、新しい言葉に出会います。また、普段の学校生活の中でALTと交流することで、「英語で何とか伝えたい」という気持ちが高まり、英語の表現力が豊かになります。英語で会話する機会があることで、コミュニケーション手段としての「使える英語」を身に付けていきます。

1シヨン能力調査）実施
▼対象 小学6年生・中学1～2年生（全員）
☆先生も指導力向上に向けて頑張っています

私たちが子どもたちが力を合わせ、より良い社会を築こうとする姿勢や、住んでいる地域を「好きになる」「大事にする」心が育っている手応えを感じています。

平成30年度人権教育啓発資料「ゆきちゃんからのメッセージ」に、活動の様子を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。みんなでこころ豊かなふれあいをしてみませんか。（人権教育課）

好きです!! にしわきわたしのふるさと

心紡いで 彩り豊かな人財の育成

～誰もがふるさとに誇りと愛着を持ち、輝いて生きる 共生社会の実現に向けて～

教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

学校における英語教育充実の取り組み

—世界へとつながる人材育成を目指して—

西脇市では、グローバル化が進む社会を生き抜く子どもたちの育成を目指し、「にしわき学力向上事業」に取り組んでいます。その一つとして英語教育の充実を図っています。特に、令和2年度から小学校で英語が教科化され「外国語科」となることを見据えて、主に次のような準備を進めています。

☆「使える英語」を身に付けよう！

【小中学校にALT（外国語指導助手）を配置】

☆先生も指導力向上に向けて頑張っています

心のスケッチ

122

人権教育課コラム

ジュニアじんけん教室の取り組み

地域の方や学校園の先生がサポートします。特に参加した小学生にとって、優しく声を掛け一緒に遊んでくれる中学生、大学生のリーダーの人気は絶大です。楽しかったという感想を多く聞きました。その他にも、「手話を覚えることができてうれしかった」「盲導犬は目の不自由な人にとって大切だと分かった」など、さまざまな喜び、気持ちに、指導やサポートをしてくださった皆さんの心の温度もきつと高まったことと、思っています。

私たちが子どもたちが力を合わせ、より良い社会を築こうとする姿勢や、住んでいる地域を「好きになる」「大事にする」心が育っている手応えを感じています。



市長からの手紙

西脇を元気に!!

64

西脇市長 片山象三

県立高校入試に西脇市の企業が開発したA-レジが登場!

真新しい制服と真っ白な靴で歩を進める高校生が3月に受験した「兵庫県公立高校の入試問題（英語）」に、西脇市の企業が開発した「パン屋さんの人工知能（AI）レジ」が話題されました。

「トレイ上のパンを自動で画像識別して、会計できるレジ」があるパン屋さんをご存じの方も多いと思います。西脇市の企業が高校入試問題に

使用されるのは、今回が初めてのことです。大変うれしく感じました。

先月、「みらいえ」で恒例の「こどもプラザフェスタ」を開催しました。地元高校生が工作や福祉体験の講師となり、子どもたちに指導する取り組みです。

今年市内の3高校に加え、西脇市から通う小野高、社高、多可高の生徒も参加してくれました。今回初めて、彼らに指導スタッフのリーダー役を担ってもらいましたが、昨年を上回る来場をいただき大盛況。高校生の若い力が、地域の人や子どもたちと身近に関わってくることが、西脇市を元気にする原動力だと確信しました。

令和元年を迎えました。新たな時代の幕開けです。引き続き若者が誇れる「元気なまち西脇」を皆さんとともに創ってまいります。



「こどもプラザフェスタ」で高校生らが多彩なブースを運営